

➤ 14日 木曜

エゼキエル



17:1 次のような【主】のことばが私にあった。

17:2 「人の子よ。イスラエルの家に謎をかけ、たとえを語れ。

17:3 『【神】である主はこう言われる。大きな翼、長い羽、色とりどりの豊かな羽毛の大鷲が、レバノンに飛んで来て、杉のこずえを取り去り、

17:4 その若枝の先を摘み取り、それをカナンの地へ運び、商人の町に置いた。

17:5 また、その地の種も取って来て、肥えた土地に植え、豊かな水のそばに柳のように植えた。

17:6 それは生長し、丈は低いが、よく生い茂るぶどうの木となった。その枝は鷲の方に向き、根は鷲の下に張り、こうして、ぶどうの木となって、枝を作り、若枝を出した。

17:7 さて、大きな翼と豊かな羽毛を持つもう一羽の大鷲がいた。すると、このぶどうの木は、潤いを得るために根をその鷲の方に向けて伸ばし、その枝を、自分が植わっているところからその鷲の方に伸ばした。

17:8 このぶどうの木は、枝を伸ばし、実を結んで見事なぶどうの木となるように、水の豊かな良い地に植えられていた。』

17:9 言え。『【神】である主はこう言われる。それはうまく育つであろうか。その根は抜き取られ、その実は摘み取られ、芽の付いた若枝はことごとく枯れないだろうか。それは枯れる。それを根こそぎ引き抜くのに、大きな力や多くの人々を必要としない。

17:10 見よ。それは植えられたが、うまく育つだろうか。東風がそれに吹きつけると、

すっかり枯れてしまわないだろうか。その芽を出した苗床で、それは枯れてしまう。』」

大きな鷲はバビロンとその王ネブカドネザルを表します。また杉のこずえはユダのエホヤキン王、ぶどうの木はゼデキヤ王を表します。すなわち、ユダ王国末期の王は、外国の武力によって別の地に連れて行かれるということで、実際に預言の5年後にそれが起こりました。

そして「もう一羽の大鷲」とはエジプトのことです。ゼデキヤ王はエジプトの方に枝を伸ばすようにして、助けを求めたのです。しかしそれは失敗してしまいました。主のご計画ととは反する事だったからです。

主のさばきによる苦難が起こりましたが、主はその中でも、バビロニアに隷属することで生き延びるように知恵を与えてくださいました。それにも関わらず、ユダの王はエジプトに頼って失敗したのです。

新約においても、救いの道は一つであることを再認識しましょう。それはイエス様の救いです。ならば、現実の困難に際してもイエス様にこそ救いを求めましょう。そして従いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

